

被爆60年以降を問う

広島の市民団体「ワ
7月から5会議 参加者12人募集

広島市の市民団体「ワ
ールド・ピース・ヒロシ
マ」は七月から、被爆六
十年以降のヒロシマが目
指す平和を考える「平和
に関するコンセンサス会
議」を開く。会議に参加
する。五月と話し合う市民を
募集している。二十七日
まで。

会議は七月三日から十

二月まで、四回の会議と
シンポジウム一回の計五
回を予定。前広島市長平
岡敏さん、広島平和文化
センター理事長斉藤忠臣
さんが参加する。平岡
さんが投げかけた平和
の現状や課題について、
意見を出し合い、最後の

会議でまとめた考え方を
十二月のシンポジウムで
「ヒロシマの心 これか
らのヒロシマ」と題して
発表する。

同団体代表の前島修さ
んは「ヒロシマの平
和とは何か、今後どう活
か、答えを見つけ出せた
ら」と話している。
すべての会議に参加で
きる高校生以上の市民が
対象で十二人を募集す
る。申し込みなどはホー
ムページ <http://wphir-oshima.hp.infoseek.co.jp/>